

令和4年度 海田小学校 学校評価 評価指標

評価項目		評価指標	具体的方策
確かな学力	確かな学力を身に付けた児童の育成	○各学期末テスト（知識・技能）の通過率80%未満を0に近付ける。（基礎問題）	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎問題通過率 80%未満の児童に対して個別指導を充実させる。 (朝・昼学習, 給食前学習, 放課後学習, 海小タイム, 家庭学習の充実) ○基礎計算を重視する。 (家庭学習, ドリルタイムの活用) ○音読を重視する。(家庭学習, 授業) ○条件に合わせて書く活動を通して, 表現する力を高める授業づくりを行う。 (海小タイム, 朝帯タイム, 各教科内で実を伴う活動) ○読書活動を充実させる。 (読書タイムや並行読書を通して, 本との出会いの場を設け, 不読率を下げる)
		○標準学力調査の記述問題で平均正答率が目標値を上回る。	
豊かな心	人や時間を大切にすることができる児童の育成	○気持ちの良い挨拶ができる児童80%	<ul style="list-style-type: none"> ○各クラスによる校門でのあいさつ運動を行う。 ・朝の挨拶運動・挨拶のきっかけ作り ○登校班での育成を行う。 ・登校班長指導・ピックアップ指導 ○心の元気委員会を活用して啓発を行う。 ・月1回の挨拶運動・全校への啓発等 ○継続した振り返りを行う。 ・自己評価・挨拶の意義の確認 ○挨拶名人表彰を行う。 ・学期ごとにクラスで2名挨拶を頑張った児童を選出し表彰する。 ○海田西中学校区あいさつ目標の確認を行う。 ・立ち止まって・相手の目を見て・自分から
		○チャイムと同時に学習が始められる児童80%以上	
健やかな体	進んで運動し体力を高める児童の育成	○50m走の記録が伸びた児童70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○大休憩, 学級タイム, ロング昼休憩では, 原則, 児童全員外遊びをする。 ○運動委員会の児童を中心に, 大休憩や昼休憩に鬼ごっこをする環境を整える
	元気に学校へ来ることができる児童の育成	○生活リズムカレンダーで自分が設定した就寝時刻の目標が達成できた割合70%以上	○学級活動及び保健の授業, 生活リズムカレンダーや保健委員会による啓発等により, 生活リズムを整えるための基礎作りをする。
信頼される学校	業務改善	○時間外勤務45時間以内の職員の割合を70%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○水曜日は原則定時で退校する。 ○業務の効率化と協働化を進め, 全職員による並行作業を行う。 ○学期末に評価に関する事務を行う日を設定する。

